

■司会 野中 道八<高知県> 宿毛市教育委員会社会教育主事
川副 知子<佐賀県> コープさが生活協同組合理事

5.17

1. クラシックバレエによる楽しいリハビリと社会参加の道

14:15～14:40

森田 順子<福岡県> 社会福祉法人希望の丘養護・特別養護老人ホーム「聖母園」寮母

聖母園を利用している養護・特別養護のお年寄り達のリハビリ及び日常生活の活性化を目的に、9年前よりクラシックバレエを取り入れている。仲間と一緒に楽しくやれる、車椅子でも参加できる、職員との交流も図れるという利点が効を奏して、お年寄り達の身体にも生活にもよい変化が現れている。現在70～90歳代の30名～40名を中心に活動しており、園内のみにとどまらず社会参加もできるバレエ団として取り組んでいる。

2. 生涯学習・人材バンクかがやきびと事業の成果と課題

14:40～15:05

江崎 文博<熊本県> 人吉市教育委員会生涯学習課社会教育主事

「かがやきびと事業」は、平成7年度から2年間、生涯学習モデル市町村事業の指定を受けて取り組んできた。これは地域の人材の発掘、ボランティア指導者の育成、小グループの学習活動への活用を目的としたものである。「かがやきびと」とは、広く一般市民から募集した、いろいろな特技、知識、技術を持つ方々の呼称である。これまでの実践による成果と今後の課題、「かがやきびと」の学校派遣による学社連携の状況などについて発表する。

～ ティータイム ～

15:05～15:40

3. 市民互助型団体「福岡たすけあいの会」の理念と活動

15:40～16:05

牛島 丸寛<福岡県> 「福岡たすけあいの会」会長

困ったときはお互い様と市民が支え合う自立した市民の団体で、大学生から70歳代の男性、女性のボランティアが活動している。少子化、高齢社会を迎え高齢者が高齢者を介護する時代に入った。そこで、サービス提供者を戸口から戸口まで送迎するシステムを作り、高齢者も会の活動に参加できるようにした。若い母親の子育ての応援、介護、話し相手、通院の手伝い、家事の手助けと様々な活動を行っている。会の理念と実践活動の内容を報告する。

4. 親子で取り組む国際ボランティア事業「緑の協力隊」の目的と成果

16:05～16:30

澤 健一<鳥取県> 岩美町「緑の協力隊」第2次隊長

今年で3回目を迎える砂漠緑化の実践活動である。町民、親子が隊を組み、中国黄河の奥地にある砂漠に出かけて、地球環境の砂漠化を少しでもくいとめるべく、ポプラを植樹する。その道程で、中国の小学校との交流をしたり、参加した親子の絆を深める。同行する老若男女が語り合いながら次世代の育成を図り、その中で日中友好とボランティア活動、そして世代間の交流を図ることを目指している。その取り組みの経緯や成果、今後の展望などを述べる。

5. 総括討論

16:30～17:00